

教育への介入許せぬ

パンフレット 配布 チツソ本社に抗議文

県高教組

チツソが「水俣病問題について

を郵送した。

への介入は近來著しいものがある

その経過と考え方」と題するパンフレットを県内の小、中、高校に配布して問題になっているが、県高教組（馬場昇委員長）は五日、「これは企業の教育現場への介入だ」として、チツソ本社に抗議文

同教組はこの中で「人命を軽視し、世論、裁判の動向を全く無視し、資本の利益を守るため、その行為を正当化しようとするこの動きは、全く非常識きわまるものである。かかる独占資本の教育現場

が、今回のごとき行為は断じて許せない」と激しく抗議、早速にパンフレットを回収するよう要求した。また同教組は、県教委に対して、チツソにパンフレットの回収

を求めるよう要望したが、これに対し山城教育次長は「要求するかどうかは教育長が不在なので、こんど検討してみる。しかしチツソに配慮が欠けていたのは確かだ。パンフレットの取り扱いについては、その内容を読んで検討する

が、おそろく破棄あるいは、教材として使わないよう指導することになる」と答えた。なお県教組（津島幸生委員長）も、近くこの問題について検討する。